



強みを伸ばし、一步先の「考える力」を育むために

校長 山下 裕司

3学期早々、5年生を対象に「鹿児島学力・学習状況調査」が実施されました。今回からタブレット端末による回答方式となり、より迅速な状況把握が可能となっています。

調査結果からは、現在の5年生の素晴らしい強みと、今後の伸びしろとなる課題が見えてきました。これは他の学年にも共通する大切なポイントですので、ぜひご家庭でもお子さんの様子と照らし合わせてご覧ください。

視点	伸びている点（強み）	今後の課題（伸びしろ）
学習への姿勢	○ 自分で決めたことを最後までやり遂げる意欲がある ○ タブレット等を使い、自ら調べる学習に積極的	● 読書習慣に大きな個人差がある ● 失敗を恐れて、新しい挑戦をためらう傾向がある
学力の定着	○ 漢字や計算などの基礎的事項は定着している ○ 長い文章問題でも、諦めずに解こうとする粘り強さがある	● 複数のデータ(図や表)を組み合わせて答えを導き出す問題で、一つの情報しか見ていない ● 学力の格差が出始めている

今回の調査で、子どもたちには「基礎力」と「粘り強さ」という素晴らしい土台があることが分かりました。今後は、バラバラの情報を結びつけて考える「情報の活用能力」をさらに伸ばしていきたいと考えています。

ご家庭でも、お子さまが興味を持っている特定の分野（スポーツ、動物など）について、複数のニュースや本を見比べて、共通点を探すような「日常の会話」を通して、お子さんの思考をサポートしていただくと幸いです。

学校でも、一人ひとりの習熟度に応じた指導をさらに充実させてまいります。ご協力をお願いいたします。

不審者対応訓練

1月23日（金）に、垂水幹部派出所のご協力をいただき、不審者対応訓練を実施しました。登下校中に不審者に遭遇してしまったらどうしたらよいかを確認しました。

「いかのおすし」を守ることはもちろんで、特に、「し」の知らせることが大切であることも学びました。通学路上にある「110番の家」を親子で確認できるといいですね。



昔の遊び体験

1年生が、生活科の学習で、昔の遊び（凧揚げやコマ回し、羽根つきなど、最近ではあまり見られない遊び）に挑戦しました。

寒空の下、強風にあおられ、凧は上手に空に揚げられました。

慣れないこともあり、コマはうまく回せなかったり、羽子板で羽をつくのもうまくできなかったりと悪戦苦闘していました。それでも、いい体験になったのではないかと思います。



インフルエンザ流行

昨年末にインフルエンザA型が流行しました。本校でも、学年・学級閉鎖を余儀なくされました。

現在、インフルエンザB型が流行しています。手洗い・うがいの励行、マスクの着用、人混みを避ける、規則正しい生活などの対策をさせていただきます。

2月(後半)・3月の行事予定

2月16日(月) クラブ活動(3年生見学)
20日(金) 県下一周駅伝応援
26日(木) 授業参観・学級PTA

3月 5日(木) 6年生を送る会
6日(金) 特別支援学級閉級式
24日(火) 卒業式
25日(水) 修了式・辞任式

